



GLIDiC

GLIDiC TW-5200

取扱説明書

かんたんガイド

お使いの前に	4
はじめに	4
パッケージの中を確認する	5
ペアリング (接続) する	6 - 8
通話をする	9
ANC/外音取り込み機能を使う	9
音楽再生/音量調整をする	10
電源を入れる/切る	10
ケース/イヤホンを充電する	11
再接続する/接続解除する	12
登録情報を削除したい (リセット)	13

その他の操作

マルチポイント機能を使う	14
Siri/音声コントロールを使う	15
音声の遅延を減らす (低遅延モード)	15
Bass Sound Modeを使う	15
イヤホンのバッテリー残量を確認する	16

スペック

LEDの見方	17
対応機器	18
仕様	18
動作時間	18

困ったときには

ペアリングができない	19 - 20
音声が聞こえない	21
イヤホンを充電できない	22
ANC/外音取り込み機能が効かない	22
Tile機能でできることや使い方がわからない	22
ピーという異音が鳴る	23
前項で解決しない場合	23

ご注意

安全上のご注意	24 - 28
電波についてのご注意	29
本製品・本書についてのご注意	30
長くお使いいただくために	30

お客様窓口・保証規定

小形充電式電池のリサイクルについて	31
お客様窓口のご案内	31
保証規定	31

お使いの前に

最適な状態でお楽しみいただくために、耳にフィットするイヤピースを選んでください。



XXS



XS



S



M*



L

*: ご購入時、イヤホンに装着されています。

はじめに

本製品をご使用の前に本書を必ずお読みください。

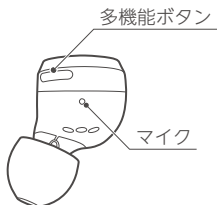
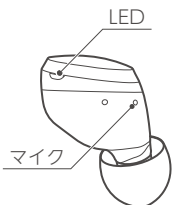
一般的なスマートフォンでの画面や手順を記載しています。お使いの機器や環境により、表示や手順が異なります。お使いの機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

注意

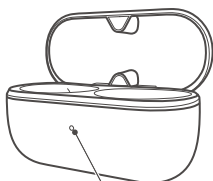
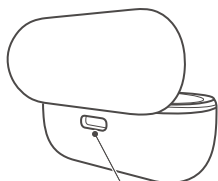
- 充電用ケースは、防滴 / 耐汗ではありません。ケースをぬらしたり、ぬれたイヤホンを取納したりしないでください。万一ぬれてしまった場合は、すぐに使用を中止してください。
- マイクやスピーカーに水が付着すると音質が変化することがあります。その場合、乾いた布で拭くか、乾燥させてください。

パッケージの中を確認する

●イヤホン(左/右)×1



●充電用ケース×1



※ケースの充電には、USB ACアダプタまたはUSBポート付きパソコンが必要です。

●イヤピース(XXS/XS/S/M/L)×2

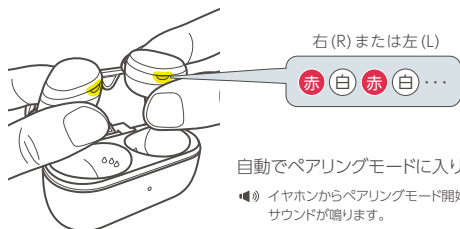
●充電用ケーブル×1

●かんたんガイド / 保証書×1

ペアリング(接続)する

①左右のイヤホンを充電用ケースから取り出す

※片側のみご使用の場合でも、初回はこの手順でペアリングしてください。



②対応機器で、ペアリング操作をする 〈スマートフォンでの操作例〉

※お使いの環境により、手順や表示が異なります。

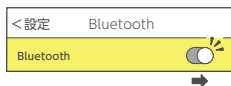
※Bluetooth 設定画面で表示されるイヤホン名が、「Headset」と表示される場合があります。

1. ホーム画面で、[設定]をタップする

2. [Bluetooth]をタップする

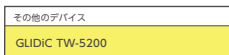


3. [Bluetooth]を ON にする



ペアリング(接続)する(つづき)

4.[GLIDiC TW-5200]をタップする



ペアリングが完了すると、対応機種の画面に接続完了など表示され、LEDが赤・白の点滅から白のみの点滅に変わります。

🔊 ペアリング完了のサウンドが鳴ります。

5. ペアリング要求のメッセージが表示されたら、 [ペアリング]をタップする



※表示されないこともあります。

次のように表示されたらペアリング完了です。



2回目以降は、左右両方のイヤホンを充電用ケースから取り出すと、自動的に左または右に再接続されます。またどちらか片方だけのイヤホンを取り出していると、モノラルとしてお使いいただけます。

③イヤホンを探す「Tile」機能を設定する

※あとから設定することもできます。

Tile とは

イヤホンを失くしても、スマホからイヤホンの音を鳴らしたり、Tileアプリの地図でBluetooth通信を最後に接続した場所を確認できます。左右どちらか片方を失くしても場所がわかります。

ペアリング(接続)する(つづき)

1.Tile アプリをインストールする



App Store



Google Play

2. アカウント登録後、[新しい端末を追加]から[GLIDiC]を選択し、画面に従って本製品を登録する

※Tileご利用の承諾とプライバシーポリシーの同意が必要です。

※Tileの機能には一部、有料のサービスがあります。

※Tileについて詳しくは、以下をご覧ください。



<https://thetileapp.jp/>

? ペアリングの手順を誤った

「登録情報を削除したい(リセット)」に従って、リセットしてからやり直してください。

? 使っている機器でのペアリングの手順がわからない

お使いの機器によって、手順は異なります。お使いの対応機種取扱説明書をご覧ください。

通話をする

多機能ボタンで操作します。


通話	左 (L)	右 (R)
電話を受ける	どちらかを1回押す	
通話終了/着信拒否	どちらかを長押し (2秒)	
マイクミュート ON/OFF	—	通話中に1回押す*

*: 片側のみのご使用时、左右どちらかのイヤホンを通話中に1回押すと、マイクミュートON/OFFが切り替わります。

ANC/外音取り込み機能を使う

音楽再生中、通話中、または待機中(接続中)、多機能ボタンを押すたびに、ANC(アクティブノイズキャンセリング)と外音取り込み機能のON/OFFが切り替わります。

※片側のみのご使用时、ANCおよび外音取り込み機能の変更はできません。

ANC/外音取り込み	左 (L)	右 (R)
 <pre> graph TD A[OFF] --> B[ANC ON] B --> C[外音取り込み ON] </pre>	1回押す	—

音楽再生/音量調整をする

多機能ボタンで操作します。

※お使いの機器やOSにより動作が異なります。

音楽	左 (L)	右 (R)
再生/停止	—	1回押す
曲送り*1	—	長押し (2秒)
曲戻し*2	長押し (2秒)	—

*1:曲送りは、次の曲の頭出しをします。

*2:曲戻しは、前(または再生中)の曲の頭出しをします。

音量	左 (L)	右 (R)
音量上げる	—	2回押す
音量下げる	2回押す	—

電源を入れる/切る

●電源を入れる



イヤホンを充電用ケースから取り出す

●電源を切る



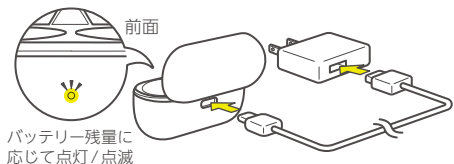
イヤホンを充電用ケースに収納する
※正しく収納されていることを確認してからふたを閉めてください。

イヤホンの充電が始まります。

ケース/イヤホンを充電する

●充電用ケースを充電する

充電用ケーブルを背面に接続する

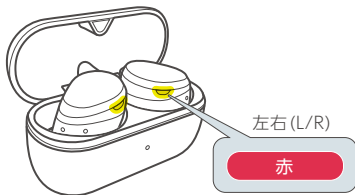


※イヤホンを収納した状態で、充電用ケースとイヤホンを同時に充電することもできます。

※充電用ケースが満充電になると、LEDが消灯します。

●イヤホンを充電する

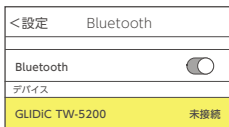
充電用ケースに収納する



※イヤホンが満充電になると、消灯します。

再接続する/接続解除する

●再接続する

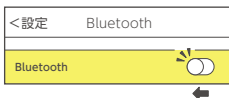


2回目以降は、イヤホンを充電用ケースから取り出したときに自動的に再接続されますが再接続されない場合、対応機器で以下の操作をします。

操作例:

[設定]→[Bluetooth]の順にタップし、一覧で[GLIDiC TW-5200]をタップ

●接続解除する



対応機器で接続解除の操作をします。

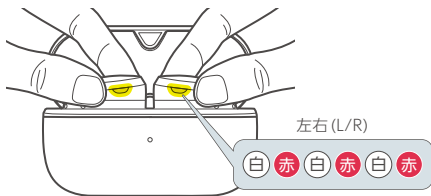
操作例:

[設定]→[Bluetooth]の順にタップし、[Bluetooth]を[オフ]にする

登録情報を削除したい(リセット)

イヤホンに登録されている機器の情報を削除したい場合や、動作が不安定な場合、リセットしてください。

- ① 充電用ケースに入れた状態で、左右のイヤホン(L/R)の多機能ボタンを5秒間押す



- ② 対応機器で、ペアリングを解除する(ペアリング済みの場合)

操作例:

[設定] → [Bluetooth] → [GLIDiC TW-5200]で、[このデバイスの登録を解除]または[切断]をタップ

- ③ 対応機器と接続する場合、「ペアリング(接続)する」に従ってペアリングする

リセット後はイヤホンがペアリングモードに入るまで少し時間がかかります。

左右のイヤホンを充電用ケースから取り出した後、イヤホンどうしを近づけて置いたまま、右または左イヤホンが赤と白で点滅してペアリングモードに入るまでお待ちください。

マルチポイント機能を使う

本製品には最大7台の機器を登録できます。イヤホンで通話したり音楽を聴いたりするときは、そのうち2台と接続できます。

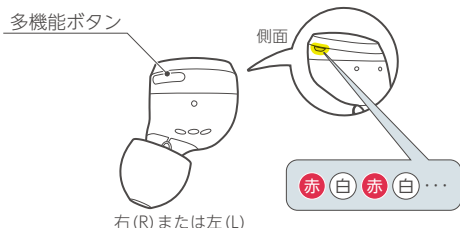
●2台同時接続の手順

①1台目(初回)のペアリング手順

「[ペアリング\(接続する\)](#)」をご覧ください。

②2台目以降のペアリング手順

- ②-1. イヤホンの待機中に、右または左イヤホンの多機能ボタンを長押しする(5秒以上)



ペアリングモードに入ります。

🔊 イヤホンからペアリングモード開始のサウンドが鳴ります。

②-2. 対応機器の設定画面でペアリング操作を行う

以降の手順は、1台目と同じです。

「[ペアリング\(接続する\)](#)」の手順②に従って、ペアリングしてください。

③2台同時接続する

最後にペアリングした機器とのみ接続され、それ以外の機器との接続は解除されます。解除された機器と再接続するには、「[再接続する/接続解除する - ●再接続する](#)」に従ってください。

●3台以上の対応機器間での切り替え手順

1. 接続を解除したい機器で、「[再接続する/接続解除する](#)」に従って接続を解除する
2. 接続したい機器で、「[再接続する/接続解除する](#)」に従って再接続する

その他の操作 (2/3)

Siri/音声コントロールを使う

Siriや音声コントロールを搭載している機器をご使用時、音楽停止中や待機中(接続中)に多機能ボタンで本機能を使用できます。

※Siriが起動しない場合、iPhone/iPadの[設定]でSiriをオンにします。

音声コントロール	左 (L)	右 (R)
起動/終了	どちらかを4回押す	

音声の遅延を減らす (低遅延モード)

ゲームや動画視聴のとき等、音声伝送の遅延を低減したい場合に、音楽再生中やスタンバイ中に本機能をオンにします。

低遅延モード	左 (L)	右 (R)
オン/オフ	3回押す	—

※片側のみご使用時は、本機能はご使用できません。片耳使用時に操作すると、Siri/音声コントロールのオン/オフになります。

※本機能をオンにすると、イヤホンのバッテリー残量の減りが早くなります。また、音が途切れることがあります。

Bass Sound Mode を使う

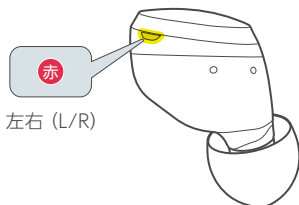
音楽再生中やスタンバイ中に本機能をオンにすると、重低音が引き立ちます。

Bass Sound Mode	左 (L)	右 (R)
オン/オフ	—	3回押す

イヤホンのバッテリー残量を確認する

●LED で確認する

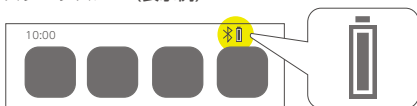
バッテリー残量が少ない場合、白の点灯/点滅が赤の点灯/点滅になります。
※ペアリングモード中とリセット時は赤と白で点滅します。



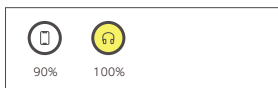
●スマートフォン/タブレットで確認する

※一部のスマートフォン/タブレットのみ。

・ステータスバー (表示例)









・ウィジェット/コントロールセンター (表示例)



LEDの見方

●イヤホン

動作	LED
充電中	 点灯
電源オン	 ゆっくり1回点滅
ペアリングモード中	    … 点滅
ペアリング完了	   3回点滅
待機中(非接続中)	    … 点滅
待機中(接続中)	   … 5秒間隔で点滅
通話中/音楽再生中	   … 4秒間隔でゆっくり点滅
着信中	     … 2秒間隔で点滅
リセット完了	      6回点滅


●充電用ケース

充電用ケースのふたを開けたときや充電中、充電用ケースのバッテリー残量に応じて、点灯/点滅します。

・ふたを開けたとき

バッテリー残量	LED
約 0 ~ 10%	     5回点滅
約 11 ~ 29%	 1回点滅
約 30%以上	 1回点滅

・充電中

バッテリー残量	LED
約 0 ~ 29%	    … 点滅
約 30 ~ 99%	    … 点滅
約 100%	 10秒間点灯

スペック(2/2)

対応機器

Bluetooth機能を搭載しているスマートフォン・タブレット、その他音楽再生機能、通話機能を有するBluetooth搭載機器

仕様

使用温度範囲:5℃～35℃

●イヤホン本体

内蔵電池	: リチウムイオンコイン電池 3.7V 35mAh
Bluetooth規格	: Version 5.2
通信距離	: 約10m(出力:Class 2)*
対応プロファイル	: A2DP, AVRCP, HFP, HSP
対応コーデック	: SBC, AAC
対応コンテンツ保護	: SCMS-T
登録デバイス数	: 最大7台
外形寸法	: 約17(W)×23(D)×22(H)mm

*: ご使用環境により異なります。

●充電用ケース

内蔵電池	: リチウムポリマー電池 3.7V 180mAh
インターフェース	: USB(Type-C)ポート
外形寸法	: 約57(W)×25(D)×35(H)mm

●充電用ケーブル

インターフェース	: USB (Type-C) コネクタ、USB(Type-A) コネクタ
ケーブル長	: 約20cm

動作時間

音楽再生時間	: 約 6時間 (充電用ケース使用時: 約 19時間)
通話時間	: 約 3.5時間

充電時間(イヤホン)	: 約 45分間
(充電用ケース)	: 約 1時間40分間

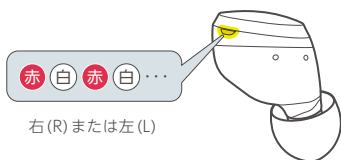
※工場出荷設定の場合。ご使用環境により異なります。

ペアリングができない

ペアリングができない場合、「登録情報を削除したい(リセット)」を行ってから、「ペアリング(接続)する」に従って、再度、ペアリングを行ってください。ペアリング時、以下の①～⑤を順番に確認してください。

※Bluetooth設定画面で表示されるイヤホン名が、「Headset」と表示されたりする場合があります。

①左右イヤホンのLEDが赤と白で交互に点滅していますか？



上記のとおりになっていない場合、LEDの状態に応じて、対処してください。

<p>白のみで 点灯/点滅</p>	<p>ペアリングモードになっていません。ペアリングモードにしてください。</p> <p>→ 「マルチポイント機能を使う - ②2台目以降のペアリング手順」手順②-1</p> <p>※初回ペアリング時/リセット後は、左右イヤホンを充電用ケースに入れてから、左右イヤホンを取り出すと数秒後、ペアリングモードになります。</p>
<p>消灯</p>	<p>バッテリー残量がゼロです。充電してください。</p> <p>→ 「ケース/イヤホンを充電する」</p>
<p>赤と白で 交互に 点滅後、 消灯する</p>	<p>ペアリングモードは約3分で終了し、電源がオフになります。再度ペアリングモードにしてください。</p> <p>→ 「マルチポイント機能を使う - ②2台目以降のペアリング手順」手順②-1</p> <p>※初回ペアリング時/リセット後は、左右イヤホンを充電用ケースに入れてから、左右イヤホンを取り出すと数秒後、ペアリングモードになります。</p>

ペアリングができない(つづき)

②Bluetoothがオンになっていますか？



対応機器の Bluetooth 設定画面で、オンになっていることを確認してください。

③「GLIDiC TW-5200」が表示されますか？



対応機器の Bluetooth 設定画面で、表示されていることを確認してください。

表示されない場合、以下を行ってください。

- ・イヤホンを対応機器の近くに置く
- ・無線 LAN、電子レンジ、ほかの Bluetooth 機器などの電波が飛んでいない環境で操作する
- ・対応機器が Bluetooth デバイスを検出 / 検索可能な状態になっているか、対応機器の Bluetooth 設定画面で確認する

④「GLIDiC TW-5200」を選択して、以下のように接続済みになりますか？



選択しても接続できない場合、イヤホンをいったん充電用ケースに収納し、対応機器の Bluetooth 設定をオフしてから、ペアリング操作をやり直してください。

⑤上記を全て行っても、接続に失敗しますか？

登録情報を全て削除してから、ペアリングをやり直してください。

→ [「登録情報を削除したい\(リセット\)」](#)

音声がかええない

●Bluetooth接続されていますか？

10:00	Bluetooth
<設定	Bluetooth
Bluetooth	<input type="checkbox"/>
"XXXX" という名前で検出可能です。 自分のデバイス	
GLIDiC TW-5200	接続済み
GLIDiC TW-5200	未接続

表示例

対応機器の Bluetooth 設定画面で、「GLIDiC TW-5200」と接続されていることを確認してください。

接続されていない場合、接続してください。

→ [「再接続する / 接続解除する」](#)

「GLIDiC TW-5200」が Bluetooth 設定画面に表示されていない場合、登録・接続してください。

→ [「マルチポイント機能を使う - ②2台目以降のペアリング手順」](#)

●対応機器の音量は十分ですか？

対応機器の音量設定を確認してください。

●聞こえないのは片方のみですか？

左右イヤホンの両方をご使用時に、片方から聞こえない場合、いったん左右イヤホンの両方を充電用ケースに収納してから、再度取り出してください。これを行っても聞こえない場合、登録情報を削除してから、ペアリングをやりなおしてください。

→ [「登録情報を削除したい\(リセット\)」](#)

→ [「ペアリング\(接続\)する」](#)

困ったときには(4/5)

イヤホンを充電できない

●充電用ケースは充電済みですか？

充電してください。

→ [「ケース/イヤホンを充電する」](#)

●イヤホンが正しく収納されていますか？

正しく収納されていると、イヤホンのLEDが赤で点灯します。

赤で点灯していない場合、再度収納し直してください。

●イヤホンまたは充電用ケースの充電ポートが汚れていませんか？

汚れが付着している場合は、乾いた布で軽く拭き取ってください。

ANC/外音取り込み機能が効かない

●全ての騒音が低減したり全ての外音が聴こえるわけではありません。

音楽の音量が大きいときに外音が聞こえないといったことがあります。

●外音取り込みのON中、かすかに「サー」という音が聴こえます。

Tile機能でできることや使い方がわからない

Tile機能の設定手順や、イヤホンを探す手順について詳しくは、以下の「Tile機能設定方法」をご覧ください。

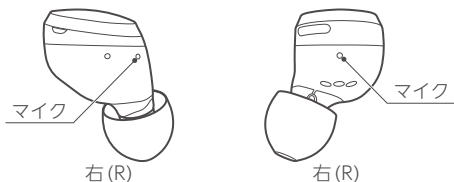
https://glidic.jp/manual/GLIDiC_Tile_manual.html

ピーという異音が鳴る

イヤホンからピーという異音が鳴る場合、左イヤホンの多機能ボタンを押してANC/外音取り込み機能をOFFにしてください。

→ **「ANC/外音取り込み機能を使う」**

- OFFにすると異音が止まる場合、ハウリングが発生していたと考えられます。ハウリングは、イヤホンのスピーカーから出る音をマイクが拾った際に異音が発生する現象で、故障ではありません。マイクを手などで押さえると発生しやすくなりますので、マイクを覆わないようにしてください。また、イヤホンを充電用ケースに収納する際にも発生することがあります。ANC/外音取り込み機能をOFFにしてから収納してください。



- OFFにしても異音が鳴る場合、**当社お客様窓口**までご連絡ください。

前項で解決しない場合

以下のWebサイトにアクセスし「TW-5200」を検索すると、本製品に関するよくあるご質問をご確認いただけます。



<https://softbankselection.jp/>




>Support
>よくあるご質問
>イヤホン・ヘッドホン

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

●絵表示の意味

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。






 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される」内容です

*1: 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2: 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

*3: 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

●禁止・強制の絵表示の説明

 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です
 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です
 水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です
 ぬれ手禁止	ぬれた手で扱ってはいけないことを示す記号です

危険

●火災、やけど、けが、感電などを防ぐために



指示

使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変形、破損、芯線露出、断線などの異常がみられた場合は、すぐに使用を中止する

異常発生後、本製品を修理しないでください。コネクタやポートがショートする恐れがあります。

バッテリーが漏液したり、異臭がしたりするときは、すぐに使用をやめて火気から遠ざける

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの恐れがあります。

本製品は、5℃～35℃の環境で使用する

対応機器の使用温度範囲については、ご使用の対応機器の取扱説明書をご覧ください。

長時間充電が完了しない場合、充電を中止する

過充電の恐れがあります。



禁止

電子レンジやIH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしない

指定以外の方法で充電しない

次の場所で使用したり保管したりしない

- ・火気や暖房器具の周辺、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など、高温になる場所や熱のこもりやすい場所
- ・風呂場やキッチン、加湿器のそばなど、水分や湿気の多い場所、結露が起きる場所
- ・ほこりの多い場所
- ・ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所
- ・布や毛布などをかぶせた状態

コネクタやポートに、導電性異物（ネックレスやヘアピン、鉛筆の芯、金属製ストラップなど）を接触させたり、これらと一緒に持ち運んだり保管したりしない

ほこりが内部に入らないようにしてください。発火、破裂、発熱の恐れがあります。

ご注意 (3/7)

鋭利な物 (釘など) を刺したり、硬い物 (ハンマーなど) で叩いたり、踏みつけたりするなど、過度な力を加えない

発火、破裂、発熱、漏液の恐れがあります。

火の中に投入したり、熱を加えたりしない

発火、破裂、発熱、漏液の恐れがあります。



分解禁止

分解、改造をしない



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

イヤホンに雨・水以外のジュース、海水、ペットの尿、化粧水、石鹸水などの液体や、高温または低温の水をかけない。また、これらの液体や水に浸けない

雨・汗・水が付着した場合、乾いた布で拭いてから充電用ケースに収納してください。これら以外の液体が付着した場合、使用を中止してください。

充電用ケースは防滴/耐汗ではありません。汗、雨、水、海水、ペットの尿、化粧品、石鹸水、その他の薬剤などでぬらしたり、ぬれた手で扱ったりしない。また、花瓶や植木鉢、コップ、化粧品など、液体の入った容器の近くに置かない

万一ぬれた場合、使用を中止してください。

⚠ 警告

●低温やけどや故障などを防ぐために



指示

使用前に、イヤホンと充電用ケーブルのコネクタ/ポート内部に異物がないことを確認し、異物がある場合は取り除く



禁止

次の場所で使用したり保管したりしない

- ・寝具の上
- ・乳幼児の手の届く場所
- ・ペットの近く
- ・ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所

ご注意(4/7)

充電中は、長時間触れない

眠ってしまって意図せず長時間触れたり、本製品をポケットの中に入れたりしないでください。

⚠ 注意

●けが、故障などを防ぐために



指示

使用しないときは、充電用ケーブルを取り外す

充電用ケーブルを接続する際は、コネクタの向きに注意し、ゆっくりと奥まで差し込む。取り外す際は、必ずコネクタを持って、ひねらずまっすぐ抜く

走行中、運転者がスマートフォンなどを手で持って、通話や操作したり、ディスプレイを注視したりすることは法律で禁止されています。運転中以外でも踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険が生じる場所では使用しないでください。

子供が使用する場合、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使い方をさせない

●故障などを防ぐために



指示

一般的な除菌シートで本製品を拭き取ることができますが、全ての除菌シートを保証するものではありません。

●失明や皮膚傷害などを防ぐために



指示

本製品が破損した際、破損した鋭利な物に注意する。また、内部の物質などが漏れた場合、顔や手などの皮膚や衣類に付着しないようにする
万一付着した場合、すぐにきれいな水で洗い流してください。目や口に入った場合、すぐにきれいな水で洗い、医師の診療を受けてください。

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合、すぐに使用を中止し、医師の診療を受ける

●難聴などを防ぐために



指示

使用する前に、対応機種¹の音量を下げる

使用中に気分が悪くなった場合、すぐに使用を中止する



禁止

大音量にしたり、長時間、連続使用したりしない

ご注意(6/7)

電波についてのご注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でだけ使用できます。
- 本製品は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - ・産業・科学・医療用機器
 - ・工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の無線局
 - 構内無線局(免許が必要な無線局)
 - 特定小電力無線局(免許が必要でない無線局)
 - ・アマチュア無線局(免許が必要な無線局)
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変更するか、使用を中止してください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、ソフトバンクセレクションお客様窓口までお問い合わせください。

警告



禁止

本製品の誤動作により重大な影響を及ぼす恐れのある機器の近くでは使用しない

病院や航空機内など、電波使用を禁止されている場所では本製品を使用しない

本製品の電波で医療機器(ペースメーカーなど)や電子機器に影響を及ぼす恐れがあります。

本製品・本書についてのご注意

- 本製品は日本国内で使用してください。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、本製品に関し、日本国外への技術サポート、アフターサービスなどは行っておりません。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 本製品を運用した結果の他への影響については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品および本書は、改良などの諸事情により予告なく変更する場合があります。
- USB Type-C は USB Implementers Forum の商標です。
- Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、SB C&S株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- ©2013-2022 Tile Inc., TILE and the TILE design are trademarks of Tile, Inc.
- その他、記載されている会社名、ブランド名、システム名、製品名は一般に各社、個人の登録商標または商標です。

長くお使いいただくために

イヤホンおよび充電用ケースに内蔵されているリチウムイオン電池は、使用したり、日数が経過するにつれ、使用可能時間が短くなります。十分に充電しても使用可能時間が半分以下に低下した場合、新しく製品をご購入ください。使用方法や環境によりご使用できる期間は異なりますが、長期間使用しない場合、次の方法で保管すると、より長くお使いいただけます。

- ・満充電の状態や、バッテリー残量ゼロの状態、長期保管しないでください。
- ・3ヵ月ごとにイヤホンを充電用ケースから取り出し、再度収納してみて、イヤホンのLEDが点灯することを確認してください。点灯しない場合、数十分間充電してください。

小形充電式電池のリサイクルについて

本製品には、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。本製品にはリチウムイオン電池が内蔵されているため一般のゴミとして廃棄できません。製品寿命などにより、処分(リサイクル)する場合は、下記までご連絡ください。



●ソフトバンクセレクションお客様窓口


TEL : 0800-111-2247 (通話料無料)

営業時間 : 10:00 ~ 19:00 (特定休業日を除く)

お客様窓口のご案内

製品に関することは、以下にお問い合わせください。

ソフトバンクセレクションお客様窓口

 0800-111-2247 (通話料無料)

e-mail : sbsinfo@cs-customer.jp

営業時間 : 10:00 ~ 19:00 (特定休業日を除く)

販売元 : SB C&S 株式会社

〒105-7529

東京都港区海岸一丁目7番1号



保証規定

https://glidic.jp/warranty/glidic_warranty.pdf